

議事録(要点筆記)

会議名	令和7年度第1回芦屋町文化財保護委員会				
開催場所	芦屋町歴史民俗資料館				
開催日時	令和7年2月12日(木) 午後1時30分～2時15分				
議 事	(1) 令和6年度芦屋町歴史民俗資料館事業実績報告について (2) 令和7年度芦屋町歴史民俗資料館事業について (3) 令和8年度芦屋町歴史民俗資料館事業計画について (4) その他				
委員の出欠	会長	中西 一美	出	野村 宗稔	欠
	副会長	中村 修身	出	久野 隆志	出
		徳山 忍	欠		
事務局	新郷、入江、其田(芦屋釜・歴史文化課)				
合意・決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度芦屋町歴史民俗資料館事業の実績報告を行った。 ・ 令和7年度芦屋町歴史民俗資料館事業の報告を行った。 ・ 令和8年度芦屋町歴史民俗資料館事業計画の報告を行った。 				

令和6年度第1回芦屋町文化財保護委員会議事録

1 開 会

芦屋釜・歴史文化課長より挨拶が行われた。

芦屋町文化財保護委員会会長及び副会長について、委員の互選により選出した。

2 議 題

(1) 令和6年度芦屋町歴史民俗資料館事業実績報告について

【事務局による説明】

資料1のとおり、令和6年度芦屋町歴史民俗資料館事業の実績報告を行った。

【質疑・意見等】

〈委員〉

八朔行事は、国選択無形民俗文化財に指定されている貴重な町の文化である。わら馬やだごびーなの作り手の高齢化が進んでいる。今後のことを見据え、わらの量や米粉の配合など、製作に必要な具体的な内容を記録してはどうか。

〈事務局〉

八朔行事について、いただいたご意見を参考に記録保存に努めたい。

(2) 令和7年度芦屋町歴史民俗資料館事業について

【事務局による説明】

資料2のとおり、令和7年度芦屋町歴史民俗資料館事業計画の報告を行った。

【質疑・意見等】

〈委員〉

遠賀川の治水に関する体験学習を企画してはどうか。遠賀川の治水と芦屋町の歴史の関係は深く、治水により町の形は変化している。こうした内容を研究し、体験学習に活用すると、面白いのではないか。

〈事務局〉

いただいた意見をもとに、検討及び研究に努めたい。また、この件に関して、ぜひ助言等をお願いしたい。

〈委員〉

令和7年度に実施した夏休み芦屋の歴史クイズラリーについて、反響を教えてほしい。

〈事務局〉

町内の小中学校にチラシを配布したこともあり、例年と比較して、児童の来館者数は増えた。今後も、町内の子供たちが、芦屋町の歴史に関心をもつきっかけとなるような企画を検討していきたい。

〈委員〉

可能であれば、子供たちの夏休みの課題に活用できるような事業を企画できると良い。

〈事務局〉

令和 8 年度は、新たな事業を計画している。いただいた意見や新規事業の反響をもとに、今後の事業について検討していきたい。

（3）令和 8 年度芦屋町歴史民俗資料館事業計画について

【事務局による説明】

資料 3 のとおり、令和 8 年度芦屋町歴史民俗資料館事業計画の報告を行った。

【質疑・意見等】

〈委員〉

八朔行事について、国選択無形民俗文化財に指定された後、八朔行事に関する映像を制作したが、この活用はどうなっているのか。

〈事務局〉

令和 7 年度は、「八朔の節句パネル展」において、八朔行事の映像を放映した。パネル展来館者の多くが、この映像を視聴していた。来年度以降も、必要に応じてこの映像を活用したい。

〈委員〉

はねそについて、昔は柏原区でも踊られていたが、現在の状況はどうか。

〈事務局〉

今は、大きく分けて芦屋側（主に浜崎区）と山鹿側（正津ヶ浜区、元町区）の 2 つではねそが踊られている。しかし、盆踊りの中止などもあり、はねそを披露する機会が減少している。

〈委員〉

町指定文化財の新規登録について、狩尾神社の神楽を検討してはどうか。神職が舞うめずらしい神楽である。

〈委員〉

山鹿の城山は、歴史的にも価値が高いと考える。平安時代に城があったとは考えにくいですが、天正期には城があったと考えられる。

〈事務局〉

町指定文化財の新規指定について、いただいた意見をもとに検討していきたい。

(4) その他

特になし。